

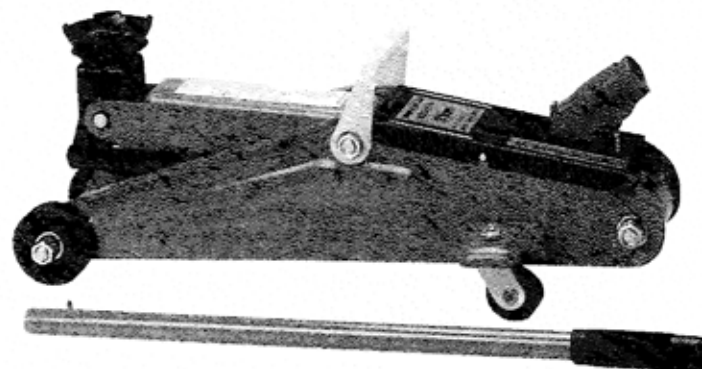
EMERSON

品番 EM-19

フロアジャッキ **油圧式** 2トン

取り扱い説明書

お買い上げいただきまして有難うございます。
安全にご使用いただくために、必ず本書を良く
読んでからご使用ください。



生産物賠償責任保険付

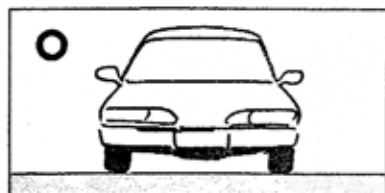
1年間保証付

ニューレイトン株式会社

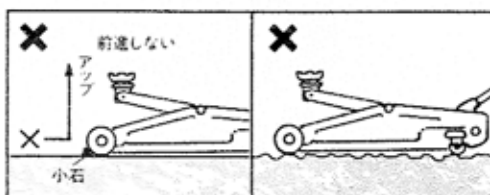
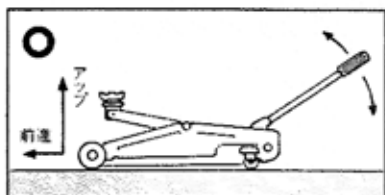
ご使用前に…

※安全のためご使用前に以下の事項を必ずご確認ください。

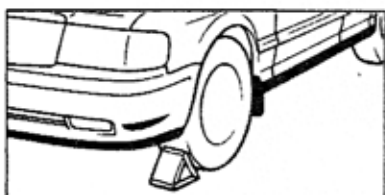
1. 堅い水平な地面で使用して下さい。



注意 リフトアップするに従いジャッキ本体が移動するため小石など障害になるものがない事を必ず確認して下さい。



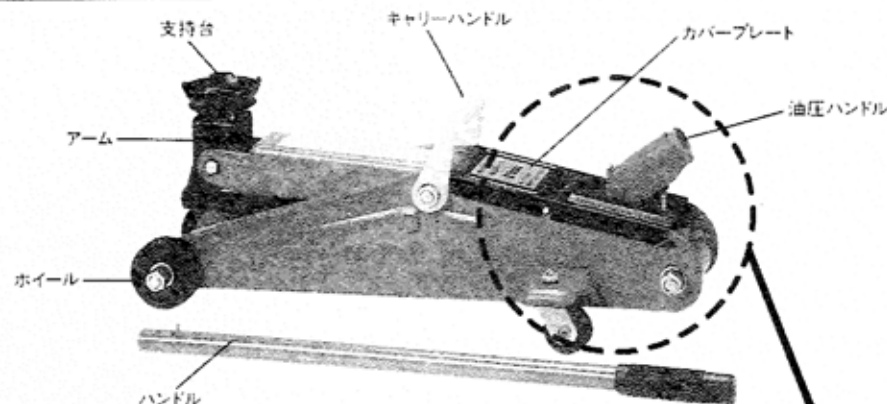
2. 車のエンジンを必ず切り、ギアをローに（オートマチック車はPに）入れて下さい。尚、車が動かない様に車輪止めをして下さい。



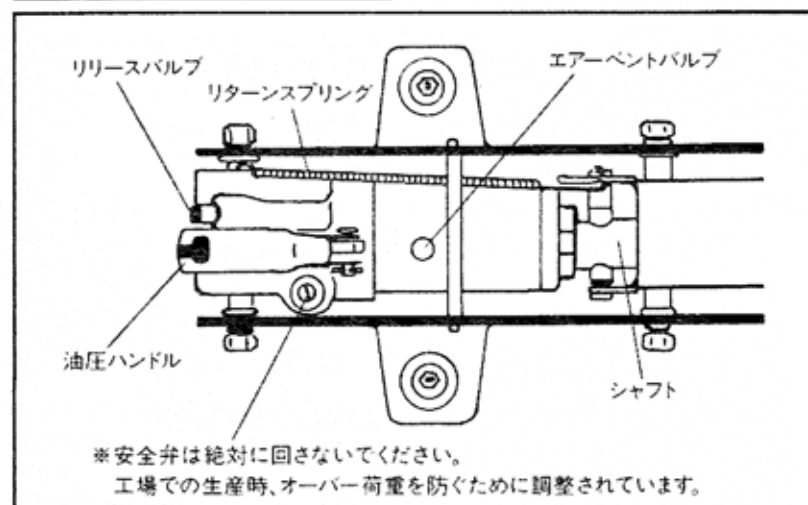
3. 車から全員降りて下さい。車のバランスがくずれ非常に危険です。
4. 車のすぐ近くに人がいたり、車に寄りかかっていないか確認して下さい。

仕 様	
本 体 サ イ ズ	幅130×奥行530×高さ130mm
最 低 位	130mm
最 高 位	390mm
本 体 重 量	12kg
付属ハンドル長さ	530mm
最 大 荷 重	2トン

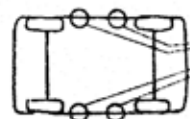
各 部 名 称



シリンダー部分拡大図



●ジャッキポイントは、ご使用前にガソリンスタンド、カーディーラーなどで確認下さい。



●このジャッキポイントでのご使用は、車側にキズを付けたり破損の原因になりますので、絶対に止めて下さい。

注意事項

重要



注意

- ◆ジャッキは固くて水平な地面でご使用ください。
- ◆表示荷重（2トン）以内の条件でご使用ください。
- ◆車の中に人を乗せたままでジャッキアップしないでください。
- ◆安全弁は絶対に回さないでください。
(2トン以上のオーバー荷重を防ぐため工場からの出荷前に調整されています)
- ◆支持台の中央に荷重がかかるようにしてください。
- ◆ジャッキは車を上げるためのものです。
安全のため必ずジャッキスタンド(馬ジャッキ)を併用してください。
- ◆車の下にもぐって作業するのは危険ですので、絶対にやめてください。
- ◆本体の分解・改造は危険ですので絶対にやめてください。



1. ジャッキを上げる時や下げる時は、必ず車の下を確認してください。
2. ハンドルは必ず付属のものをお使いください。
3. ホイールなどの可動部分には時々潤滑油を差し動きを良くしてください。
4. 使用しない時は、支持台を一番低い位置に戻し、リリースバルブを閉めてください。油圧ピストンがシリンダー内に収納されサビ・キズから守ります。
5. ジャッキオイルは、ESSO (又は同等の) SAE10油圧用オイル又は、エマーソン純正オイルをご使用ください。
* プレーキオイル・アルコール・グリセリン・洗浄用モーターオイルなど指定以外の使用は避けてください。
6. 持ち運びの際は、キチンとキャリーハンドルがはまっているか確認してください。重量が重いので落とすと非常にキケンです。又故障の原因になります。
7. 保管の際は、必ず本体の車輪を接地面側にしてください。
タテやヨコの状態にしますとオイルもれや故障の原因になります。

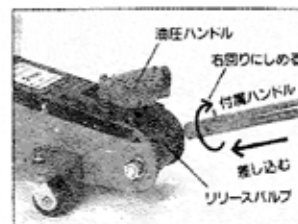
ご使用方法

リフトアップ



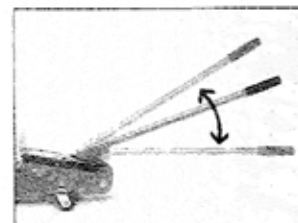
注意 車の中に人を乗せたままでジャッキアップしないでください。

1. 付属のハンドルでリリースバルブがしまっているか確認してください。
しまっていない場合は時計回りいっぱいにしてください。

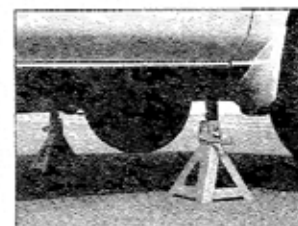


注意 安全弁は絶対に回さないでください。

2. ハンドルを油圧ハンドルに差し込み、上下に動かしますとアーム部分が上がります。
3. 支持台の中心にジャッキポイントを合わせジャッキアップしてください。



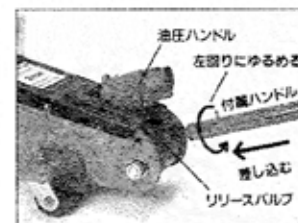
注意 必ず支持台の中心にジャッキポイントをあわせてください。



安全のため必ずジャッキスタンドをご使用下さい。

ジャッキを下げる

1. 車の下を確認してください。
2. 付属ハンドルを油圧ハンドルから抜き、リリースバルブへ差し込み、ゆっくり時計と反対回りに回してください。



注意 急に回しますと、荷重がかかっているため車が勢いよく下がり非常にキケンです。

3. 支持台を一番下まで下げ、付属ハンドルでリリースバルブをしっかりと閉めて保管してください。

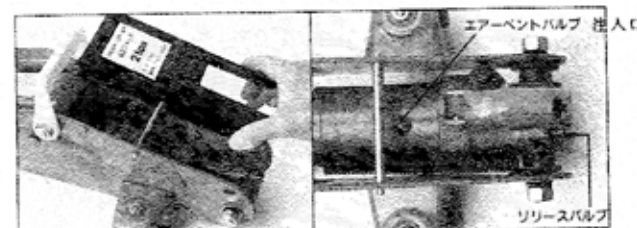
故障かな?と思ったら、以下のチェックを行って下さい。

状 況	原 因 と 対 策
荷重を持ち上げない。	①リリースバルブがしっかりしまっていない。 →バルブを時計方向にしっかり締めて下さい。 ②オイルレベルが低すぎる。 →オイルを補充して下さい。
荷重を支えない。	③リリースバルブがしっかりしまっていない。 →バルブを時計方向にしっかりしめて下さい。 ④油圧系統にエア・ホコリが混入している。 →※エア抜きを行って下さい。
ジャッキが最高の位置まで上がらない。	⑤オイルレベルが低すぎる。 →オイルを補充して下さい。 ⑥油圧系統にエア・ホコリが混入している。 →※エア抜きを行って下さい。
ジャッキが最低の位置まで下らない。	⑦油圧系統にエア・ホコリが混入している。 →※エア抜きを行って下さい。 ⑧リターンスプリングがはずれているか、老化している。 →可動部分に注油するか、スプリングを交換する。
ジャッキがスムーズに上がらない。	⑨油圧系統に空気が混入している。 →※エア抜きを行って下さい。

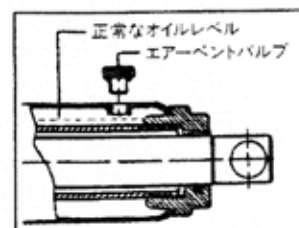
※以上のチェックを行っても作動しない場合や、その他ご不明の点、ご質問などがありましたら、本書記載の輸入発売元までご連絡下さい。

オイル補充の方法

1. 支持台を一番下まで下げ、水平な地面の上でエア・ベントバルブを外して下さい。



2. 給油口から専用オイル ESSO、又は同等の SAE10 油圧用オイル、又はエマーソン純正油圧オイルを注入して下さい。



バルブの穴より10ミリ位まで補充して下さい。



ジャッキ販売店、発売元へお問い合わせください。

3. オイルの補充が済んだらエア抜きを行ってください。

エア抜き

1. リリースバルブをゆるめてください。左回り（時計と反対回り）2～3回転。

注意 3回転以上回しますとオイルもれや故障の原因になりますのでご注意ください。

2. エア・ベントバルブをはずしてください。
3. ハンドルを油圧ハンドルに差し込み、上下いっばいに動かしてください。これをすばやく5～6回くりかえしてください。

*これでシリンダー内のエア（空気）が抜け正常に作動します。作動しない場合は、2～3回同じ作業をくりかえしてください。

